

報道された西日本豪雨、多くの方の命が失われ、大災害がもたらされました。自治体からの避難情報の遅れだったのでしょうか。避難情報が出ている中で、被災されたことも伝えられました。

近年の激しさを増す雨の降り方を、国土交通省は「新たなステージ」と呼び、これまでの常識が通用しない。と警告を出しています。台風12号の進路を思いだしてください。関東地方直撃かと思われましたが、南部をかすめ、なんと西に進路を取り、九州北部、南部へと向かいました。

台風12号、金田地区の鈴川沿い、長持地域に「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されました。公民館に7名の方が自主避難し、金田小学校避難所へは3名の方が避難しました。(市災害対策課談)

矢次早に第13号が千葉県、茨城県の太平洋沿いをかすめ北寄りに進路を取りました。

- ハザードマップなどで地域の危険性・避難場所を確認しよう。
- 事態が悪化するまえに避難準備をしよう。
- 平塚市から「発令」があったら明るいうちに避難しよう。

台風13号の接近をうけ、NHKテレビより

避難所に避難する場合は、各自で食料や飲料水等をご用意ください。

平塚市HPより

● 行政からの報道には「早く、正確に、いかに伝えるか」が求められます。
が、私たちも、行政情報だけに頼らず「自発的に判断し避難する」(中央防災会議)ことが肝要です。

■ 『氾濫 想定していたが』、『浸水 ハザードマップ通り』 西日本豪雨を伝える新聞見出しです。
平塚市で発行する「洪水ハザードマップ」(年度末に改定・配付される予定です)によると、金目川水系では最悪条件の降雨時、寺田縄地域の広い範囲で水深2m以上5m未満、深さは2階までつかる程度と記されています。異常な降水の量のみならず、寺田縄地域の地形が関係しています。

最悪条件の時、寺田縄地域一帯が浸水してからの金田小学校への避難は考えられません。事態が悪化する前の避難が必要です。自身の身を守るためには、ためらわず、早めの避難が求められます。

■ プロモート会員の活動 <ご一緒に活動しませんか、募集中です。ご連絡ください>

- ① 6/09 かつば公園に設置された防災倉庫の備品の点検をしました。
- ② 7/22 班長・組長さん対象の防災訓練を実施し、全員で45名の参加がありました。
 - ・ 市災害対策課：発令情報の内容。水消火器の使用。 ・ 平塚パワーズ：防災頭巾、応急手当等。
- ③ 班長さんと共に「街頭消火器調査」を実施し、取りまとめ中です。

(寺田縄自治会長 杉山 元、防災会代表 片山興大)